

## 2026 年度 授業計画(シラバス)

学 科	臨床検査技師科		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	講義実習
科 目 名	一般検査学1		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	45 (1) 時間(単位)
対 象 学 年	1年生		学期及び曜時間	前期 不定	教室名	801,802教室、6F実習室
担 当 教 員	齋藤 寛	実務経験と その関連資格	国立病院機構近畿ブロックの敦賀医療センター、姫路医療センターで臨床検査技師として勤務。一般検査に従事していた。			
《授業科目における学習内容》						
医療現場で実施されている尿検査、髄液検査などの一般検査を学ぶ。検査の原理から検査方法の流れ、検査結果の見方を習得し、臨床検査技師の役割を認識することを目標とする。						
《成績評価の方法と基準》						
中間試験、期末試験、実習レポートなどを総合して評価する。						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
臨床検査学講座 一般検査学、配布プリント						
《授業外における学習方法》						
授業内容を理解し、ノートに重要事項をまとめる。実習レポートを作成する。						
《履修に当たっての留意点》						
腎臓などの解剖学を理解し、尿検査などの一般検査業務の内容と適切な検査手順を習得して欲しい。検査業務における臨床検査技師の役割を認識して欲しい。						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第1回	講義形式	授業を通じての到達目標	一般検査の意義、腎臓の働きを学び、尿の生成と排泄を理解できるようになる。	教科書、プリント	教科書P1～6を読んでおく	
		各コマにおける授業予定	一般検査、腎臓解剖、尿の生成・排泄過程			
第2回	講義形式	授業を通じての到達目標	尿検体の正しい採取方法、保存条件を理解できるようになる。	教科書、プリント	教科書P6～9を読んでおく	
		各コマにおける授業予定	尿の採取法の分類、尿検体の取り扱い方			
第3回	講義形式	授業を通じての到達目標	尿の一般的性状(尿量・外観・臭気)を理解できるようになる。	教科書、プリント	教科書P9～11を読んでおく	
		各コマにおける授業予定	尿の一般的性状(尿量・外観・臭気)			
第4回	講義形式	授業を通じての到達目標	尿試験紙の検査法および尿比重・pHの原理と臨床的意義を理解できるようになる。	教科書、プリント	教科書P11～17を読んでおく	
		各コマにおける授業予定	尿試験紙の検査方法、尿比重・pH			
第5回	講義形式	授業を通じての到達目標	尿蛋白の検査法と臨床的意義を理解できるようになる。	教科書、プリント	教科書P17～20を読んでおく	
		各コマにおける授業予定	尿蛋白の試験紙法、煮沸法、スルホサリチル酸法			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
第6回	講義形式	授業を通じての到達目標	特殊な蛋白の検査法と臨床的意義を理解できるようになる。	教科書、プリント	教科書P20～21を読んでおく
	各コマにおける授業予定	Bence Jones蛋白の検査法、微量アルブミン			
第7回	講義形式	授業を通じての到達目標	尿糖の検査法と臨床的意義を理解できるようになる。	教科書、プリント	教科書P22～23を読んでおく
	各コマにおける授業予定	尿糖の検査			
第8回	講義形式	授業を通じての到達目標	尿ケトン体、潜血の検査法と臨床的意義を理解できるようになる。	教科書、プリント	教科書P23～24、P28～30を読んでおく
	各コマにおける授業予定	尿ケトン体、潜血の検査			
第9回	講義形式	授業を通じての到達目標	尿ビリルビン、ウロビリノゲンの検査法と臨床的意義を理解できるようになる。	教科書、プリント	教科書P24～28を読んでおく
	各コマにおける授業予定	尿ビリルビン、ウロビリノゲンの検査			
第10回	講義形式	授業を通じての到達目標	尿亜硝酸塩・白血球・アスコルビン酸の検査法と臨床的意義を理解できるようになる。	教科書、プリント	教科書P31～33を読んでおく
	各コマにおける授業予定	尿亜硝酸塩・白血球・アスコルビン酸の検査			
第11回	実習形式	授業を通じての到達目標	尿試験紙の正しい使い方を実践し、結果の判定ができるようになる。	教科書、プリント	第2～10回の講義の復習をする
	各コマにおける授業予定	尿試験法の実習			
第12回	実習形式	授業を通じての到達目標	尿蛋白検査の方法を実践し、結果の判定ができるようになる。	教科書、プリント	第5回の講義の復習をする
	各コマにおける授業予定	スルホサリチル酸法の実習			
第13回	講義形式	授業を通じての到達目標	妊娠反応、乱用薬物、特殊尿検査、腎機能検査の臨床的意義を理解できるようになる。	教科書、プリント	教科書P33～50を読んでおく
	各コマにおける授業予定	妊娠反応、乱用薬物、5-HIAA、VMAなどの特殊尿検査、腎機能検査			
第14回	講義形式	授業を通じての到達目標	尿沈渣の標本の作成と鏡検法を理解できるようになる。	教科書、プリント	教科書P50～56を読んでおく
	各コマにおける授業予定	尿沈渣標本の作成、鏡検方法			
第15回	講義形式	授業を通じての到達目標	尿沈渣の血球類・上皮細胞類の形態を理解できるようになる。	教科書、プリント	教科書P56～66を読んでおく
	各コマにおける授業予定	尿沈渣の赤血球・白血球、上皮細胞類			

## 2026 年度 授業計画(シラバス)

学 科	臨床検査技師科		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	講義実習
科 目 名	一般検査学1		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	45 (1) 時間(単位)
対 象 学 年	1年生		学期及び曜時間	前期 不定	教室名	801,802教室、6F実習室
担 当 教 員	齋藤 寛	実務経験と その関連資格	国立病院機構近畿ブロックの敦賀医療センター、姫路医療センターで臨床検査技師として勤務。一般検査に従事していた。			
《授業科目における学習内容》						
医療現場で実施されている尿検査、髄液検査などの一般検査を学ぶ。検査の原理から検査方法の流れ、検査結果の見方を習得し、臨床検査技師の役割を認識することを目標とする。						
《成績評価の方法と基準》						
中間試験、期末試験、実習レポートなどを総合して評価する。						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
臨床検査学講座 一般検査学、配布プリント						
《授業外における学習方法》						
授業内容を理解し、ノートに重要事項をまとめる。実習レポートを作成する。						
《履修に当たっての留意点》						
腎臓などの解剖学を理解し、尿検査などの一般検査業務の内容と適切な検査手順を習得して欲しい。検査業務における臨床検査技師の役割を認識して欲しい。						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第16回	講義形式	授業を通じての到達目標	尿沈渣の円柱類の形態を理解できるようになる。	教科書、プリント	教科書P66～74を読んでおく	
		各コマにおける授業予定	尿沈渣の円柱類			
第17回	講義形式	授業を通じての到達目標	尿沈渣の結晶類の形態を理解できるようになる。	教科書、プリント	教科書P74～80を読んでおく	
		各コマにおける授業予定	尿沈渣の結晶類			
第18回	実習形式	授業を通じての到達目標	尿沈渣の標本作成と健常人の標本を観察し、各成分を分類できるようになる。	教科書、プリント	第14回～17回の講義の復習をする	
		各コマにおける授業予定	尿沈渣の標本作成、標本観察(正常成分)の実習			
第19回	実習形式	授業を通じての到達目標	尿沈渣標本を観察し、各成分を分類できるようになる。	教科書、プリント	第14回～17回の講義の復習をする	
		各コマにおける授業予定	尿沈渣の標本観察(異常成分)の実習			
第20回	講義形式	授業を通じての到達目標	糞便の基本性状、便潜血検査法の原理と臨床的意義を理解できるようになる。	教科書、プリント	教科書P89～97を読んでおく	
		各コマにおける授業予定	消化器の解剖、糞便の基本性状、免疫学的便潜血検査法			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
第21回	実習形式	授業を通じての到達目標	免疫学的便潜血検査の検体採取および検査手技ができるようになる。	教科書、プリント	第20回の講義の復習をする
		各コマにおける授業予定	免疫学的便潜血検査法の検体採取、検査手技の実習		
第22回	講義形式	授業を通じての到達目標	脳脊髄液の基本性状と化学的検査を理解できるようになる。	教科書、プリント	教科書P99～101、P104～105を読んでおく
		各コマにおける授業予定	脳脊髄液の基本性状、化学的検査		
第23回	講義形式	授業を通じての到達目標	脳脊髄液の細胞学的検査を理解できるようになる。	教科書、プリント	教科書P101～104を読んでおく
		各コマにおける授業予定	脳脊髄液の細胞算定、細胞分類		
第24回	実習形式	授業を通じての到達目標	フックス・ローゼンタール計算板を用いて、脳脊髄液の細胞算定ができるようになる。	教科書、プリント	第22、23回の講義の復習をする
		各コマにおける授業予定	脳脊髄液の細胞算定の実習		
第25回	講義形式	授業を通じての到達目標	喀痰の性状と検査法を理解できるようになる。	教科書、プリント	教科書P107～111を読んでおく
		各コマにおける授業予定	喀痰の性状、成分、検査		
第26回	講義形式	授業を通じての到達目標	胃液、十二指腸液、穿刺液の基本性状と検査法を理解できるようになる。	教科書、プリント	教科書P113～127を読んでおく
		各コマにおける授業予定	胃液、十二指腸液、穿刺液の基本性状と検査、滲出液と漏出液の鑑別		
第27回	講義形式	授業を通じての到達目標	精液の基本性状と検査法、臨床的意義を理解できるようになる。	教科書、プリント	教科書P129～136を読んでおく
		各コマにおける授業予定	精液の基本性状と検査法、基準値		
第28回	講義形式	授業を通じての到達目標	気管支肺胞洗浄液、CAPD排液、羊水、鼻汁好酸球、関節液、結石分析の検査と臨床的意義を理解できるようになる。	教科書、プリント	教科書P137～148を読んでおく
		各コマにおける授業予定	気管支肺胞洗浄液、CAPD排液、羊水、鼻汁好酸球、関節液、結石分析		
第29回	講義形式	授業を通じての到達目標	一般検査の知識の定着、医療現場での一般検査の現状を理解できるようになる。	教科書、プリント	第1～28回までの授業内容の復習をする
		各コマにおける授業予定	第1～28回の講義の総まとめ		
第30回	講義形式	授業を通じての到達目標	一般検査の知識を総復習し、一般検査結果のデータを読み取ることができるようになる。	教科書、プリント	第1～29回までの授業内容の復習をする
		各コマにおける授業予定	第1～29回の講義の総まとめ		